

District 2770



イマジン

ロータリー

会長：小林 賢弘
幹事：北林 隆一

Weekly Report

2022~2023 越谷東RC運営方針

●感謝と恩返しの輪を広げよう

2022~2023 RIテーマ

●イマジン ロータリー

越谷東
ロータリークラブ

創立1987年5月18日



〈例会日〉 毎週木曜日 12:30~13:30

〈事務局〉 〒343-0813 越谷市越ヶ谷3-7-1 (NTT東日本 越谷ビル2F)

☎ 048-965-2037 ☎ 048-965-2011

<http://www.koshigayahigashi-rc.org/> E-mail:info@koshigayahigashi-rc.org

第1735回例会 2023年6月8日

司会：会場運営委員会／橋本 政行
会報No.1521号／担当：委員一同

会員数：56名／出席数：31名
出席率：62.00%

ロータリー親睦活動月間



会長挨拶

会長 小林 賢弘

今日はこの後でとても楽しみにしていた岡崎会員の卓話があります。

人前で上手く喋れない私がクラブの会長になるに当たって一番心配していたのが、この毎週続く会長挨拶でした。歴代会長たちのような綺麗で品のある上手な話は全く思いつきそうになく頭を抱えていた時に思い出したのが、阿部年度の世界のロータリークラブを訪問するシリーズで、毎回スライドを使った阿部さんの職業ならではの実に個性的な挨拶でした。それともう一つが岡崎年度でした。岡崎巧芸物語と言える創業から現在までの一大エンターテイメントで、続きが早く聞きたくて毎週の例会がとても楽しみでした。私はこ

れしかないと思いました。これなら好きな事をやって人の倍くらい無駄な時間を使ってきた私ですからエピソードには事欠かず、シリーズものにすれば回数を稼げて何とか行けるのではと考えた結果が「私について語る」シリーズでした。

ここまで時系列は前後しましたが、プロレス応援挨拶が「10歳からプロ編」「新日本プロレス道場編」「プロレスについて考えることは悦びである編」の3部作、これをまとめて「プロレス編」とします。戦国時代から私の誕生まで遡った「小林家ルーツ編」「IQ160の神童編」「剣道部死闘編」6回続いた「バンドマン編」そして先週スタートした「オートバイ編」の6部構成となります。さて前回の続きですが、16回受験してやっとの思いで大型免許を取得した私は、バイトに明け暮れてカワサキZ750FXを手に入れ、ついに憧れのナナハンライダーとなりました。仲間からは羨望の眼差しで見られ、後ろに乗りたがる女の子からのアプローチは絶えずと夢のような日々が続きます。そしてバイトを以前の量に戻して、親の手前学校に行くようになりました。少しでも長い時間バイクに乗っていたかった私は、剣道部時代に練習帰りに毎日寄っていて、皆が「おばばの店」と呼んでいた婆さんが一人でやっている駄菓子屋の庭にバイクを置かせてもらってバイク通学をしていました。おばばと仲が良かった私は「おばば、一生のお願いだ」と土下座して頼み込み置かせて



- ◆黙 想
- ◆開会点鐘 会長 小林 賢弘
- ◆ロータリーソング斉唱 「奉仕の理想」
- ◆クラブソング斉唱 「クラブ賛歌」(2番)
- ◆会長挨拶 会長 小林 賢弘
- ◆幹事報告 幹事 北林 隆一
- ◆委員会報告 副幹事 橋本 政行
- ◆ロータリーの友紹介
オリエンテーション・教育委員会 加藤 盛也
- ◆会員卓話
株式会社 岡崎巧芸 代表取締役会長 岡崎 愛子
- ◆スマイル報告 社会奉仕委員会 隅田 敏
- ◆出席報告 出席委員会 栗屋 裕二
- ◆閉会点鐘 会長 小林 賢弘

もらえるようになったのです。

ある日の帰り道、車の流れに乗ってゆっくり走っているとCBX400Fが生意気に被せるようにして挑発的に抜いていったのです。「ほう・・・」と私はナナハンの加速を見せつけて格の違いを判らせてやらなければと思い、そいつの真後ろに着いて信号待ちで先頭に並ぶとウイリーさせながらのフル加速でCBXをはるか後方に置き去りにしました。追うことが無意味だと判らせるために150kmまで引っ張りぶっ飛ばしていたらパトカーが追ってきました。「やばい！」と焦りましたが、パトカーなら振り切れると思い、信号無視を重ね完全に逃げ切ったと思った瞬間、突然2台の白バイが右折してきて後ろに着かれてしまいました。終わったとも思いましたが、完全にやけくそになった私は、止まらずにフル加速して逃げ続けました。ここまでやってしまったら折角苦労して取った大型免許は取り消しだと確信した私は、無意識のうちにこのバイクに少しでもいいから長く乗っていたいと思っていたのかもしれませんが。交通量の多い交差点で、さすがにここを突っ切ったら死ぬと思い、止まったところで逮捕されました。白バイ2台とパトカー3台に囲まれて、辺りは野次馬が集まってくる騒ぎになりましたが、全てが終わったと諦めていた私は「野次馬ってどいつもこいつも何でこんなアホ面してるのだろう？」とか「ここまで間抜けな顔して恥ずかしくないのかな？」とか関係ないことを考えていたことを覚えています。知らない間に草加まで来ていたようで、パトカーに乗せられ草加警察に連れて行かれました。ナナハンともうお別れかと思うと悲しくて泣けてきました。警察に親父が飛んできてひどく殴られましたが、一晩勾留されただけで翌朝家に帰れました。柔道高段者の親父にはよく投げ飛ばされましたが、拳で殴られたのは後にも先にもこの時だけでした。その後家庭裁判所送りとなり起訴。罰金と免許取消し、欠格1年の処分となりました。高校が退学にならなかったのは未だに謎のままです。警察に没収されていたFX750は、バイク屋に引き取ってもらいそのまま売却となりました。いいことばかりはありゃしない、好事魔多しとは良く言ったもので、この一件で深く傷ついた私は「二度とバイクには乗らない」と誓ってバンド活動に専念するのです。

そして亜細亜大学進学後、天才ギタリスト矢沢と出会いバンドを結成しましたが、彼も私とよく似た経験をしていました。矢沢は新潟市内をCBX400Fで爆走中、やはり白バイに追い回され信濃川の土手から転落しバイクは大破して全損。本人は頭部を強打して意識不明となります。救急搬送され脳波に異常が出ますが命に別状はなく1週間で退院できたそうです。この脳波の異常が直接の原因かどうかは不明ですが、事故の後からは今まで弾けなかったフレーズが弾けるようになったり、突然メロディーが降りてきて良い曲が生まれたり、矢沢の天才的なものはこの事故がきっかけ

らしいです。そして彼も免許を取消しにされ、苦労して手に入れたCBXを廃車にしてしまったことに深く傷つきバイクにはもう乗らないと思っていました。そんな心に同じ傷を持つ2人が出会ってしまったのです。程なくバイクの話で盛り上がるようになり、私も矢沢もたまらなくもう1度バイクに乗りたくなってしまいました。私一人だったら乗ることはなかったかもしれませんが。ちょうど2人とも欠格期間が明けて4輪の免許を取っていたので、近所の教習所に通いすぐに中型免許を取得しました。

矢沢は400CCマルチでは初の水冷エンジンを積むヤマハXJ400ZSを、私は以前乗っていたZ400FXがZ400GPと2世代を経てどれだけ進化したかを確かめたくてカワサキGPZ400Fを選びました。仲良くなっていたバイク屋が20歳以上なら保証人無しで組めるバカ高い金利のローンを用意して、2人同時に生まれて初めての新車を手に入れました。

ツーリングで遠出しない限りはワインディングロードと言えば平坦な柿ノ木の田んぼ道くらいしか無く、峠道に飢えていた私は夜な夜な矢沢と奥多摩の峠を攻めに行きました。新潟出身の矢沢は、シーサイドラインや弥彦スカイラインなどをかなり走り込んでいて、奥多摩で彼の前に出ることはできませんでした。バイクに乗る楽しみは幾つもありますが、やはり曲がるのが最大の楽しみだと信じる私が峠道で全く歯が立ちませんでした。これが悔しくて仕方なかった私は大学で知り合った黒見くんという本格的にロードレースに打ち込んでいる友達に教えを乞うようになります。彼はホンダのレーサーRS125で筑波選手権を戦い、バイト代を全てレーシングパーツにつき込むストイックな男でした。黒見の公道バイクはスズキGSX-R400で、奥多摩と一緒に走りましたが、私とは次元の違う走りを見せつけられました。上には上がいるもんだと素直に感動しましたが、彼との出会いがバンドとは別の、もう一つの麻薬のように危険なレースというジャンルに私を引きずり込むのです。この続きはもう1回か2回お話ししようと思います。



幹事報告

幹事 北林 隆一

幹事報告させていただきます。

来週の例会は、6/15(木)、クラブ協議会となります。会員増強部門、公共イメージ、クラブ管理運営部門の委員長の皆様ご準備をお願いします。



また、ビジターゲストとして越谷南ロータリークラブと越谷青年会議所の皆様がお越しになる予定です。

以上幹事報告でした。

ロータリーの友 6月号の紹介



オリエンテーション・教育委員会
加藤 盛也

みなさんこんにちは。今年度は山崎さん、五十嵐さんと3人でロータリーの友紹介を担当させていただき、年度のトリを務めさせていただきます。

横組み31P

左下の野生ポリオウイルスによる症例数をご覧ください。

2023年4月26日現在の症例数はパキスタンの1件だけと記載されています。

この内容が正確かどうかGPEI（世界ポリオ根絶推進活動）のホームページを開いて日本語版で見ましたが、最新状況を確認することができませんでした。素直に表を見ることにして、2023年の症例が1件ということであれば、根絶に大きく前進した年度とってよいのかと思います。

続いて右側のIAN. H.S. RISELEYロータリー財団管理委員長からの「全ては私たちの力次第」と題した記事があります。補助金プロジェクトや寄付を通じてロータリー財団を支援した会員、クラブへの感謝のメッセージが書かれており、さらに今後も粘り強く活動を続けていきたいと思います。粘り強さを身をもって示した人物にネルソン・マンデラ氏を挙げ、マンデラ氏が2008年の90歳の誕生日の折、世界から集まった聴衆に対し、「みんなのため、特に貧しい人、弱い立場にある人、疎外された人のためにより良い世界をつくるのは、皆さんの力次第です」と語ったことを引用しています。世界を変えるのは、他の誰でもない私たち自身だということ、支援を必要とする人々に手を差し伸べることこそ、ロータリーをロータリーたらしめ、今後の財団を形づくる

と発信しています。

たまたまこの記事を見た後に、新聞の記事が目にとまりました。みなさんもお存じかと思いますが、埼玉県出身で双子姉妹の女子プロゴルファー岩井明愛さん、千怜さんのお父さんのインタビュー記事でした。二人はツアートーナメントで優勝するトッププロとなりましたが、もともとプロに育てたいという大げさな目標が無かったので両親とも肩の力が抜けており、どんなにゴルフが上手になっても家訓を守らせてきたそうです。

- ① 困っている人がいたら助ける
- ② 一人ぼっちの人がいたら仲間に入れる
- ③ 人にされて嫌なことはしない
- ④ 幼い子や女の子にやさしくする

二人は教えを守り、孤立していたクラスメートに話しかけたり、家庭環境で悩む友達を自宅に招いたり、プロになっても練習拠点のゴルフ場で正午と夕方の球拾いを手伝う。自分たちが成長できた陰に、多くの人の苦労があると知っているからだ。その様な彼女たちの行動が、多くのファンを惹きつけ、ファンに勇気と感動を与えることが出来るのでしょうか。

お気づきでしょうか。マンデラ氏という偉人の話でなくても、岩井姉妹の父親が家訓として娘たちに実践させていることで、世の中を変えているということ。私たちロータリアン一人一人が力を発揮することで、世界に良い変化をもたらすことができる可能性があることに自信を持ち、今後も活動していきましょう。

これをもって本年度の最後のロータリー友の紹介とさせていただきます。以上



スマイル報告

社会奉仕委員会 隅田 敏

今回

20,000円

累計

838,000円

【奥の細道 芭蕉】(取残し)

象瀉や 料理何くふ 神祭 曾良

熊野権現のお祭りにでくわす。海辺の象瀉であるのに、熊野信仰によって魚を食べるのを禁じられ、何を食べるのだろうか。(出席委員会)

次の例会の案内

第1736回 6月15日

クラブ協議会

(会員増強部門・公共イメージ・クラブ管理運営部門)

会員卓話



株式会社 岡崎巧芸 代表取締役会長 岡崎 愛子

皆さん、こんにちは

小林年度の6月の例会場での卓話をするように五十嵐プログラム委員長からお話を頂き光荣だと思えます。久しぶりの演台で少し緊張しております。

秋山出席委員長からロータリー歴の話をするように言われましたが、すいません。今日は自分の事、感じた事などをお話しさせていただきます。

今年で私は83歳になります。まだ看板の営業をしておりますので色々な方とお話いたします。見た目も大事なので髪の毛の色を変え、染めていて化粧して呼ばれば何処でも出かけます。

お客様に「看板屋さん83歳に見えないよ。若く見えるよ」とほめて頂くとおせじだと思いますがとても嬉しいです。でもね、若ぶっていても、無理、無理です。身体は正直です。最近筋肉の衰えが凄く進んできました。

私は車の運転が大好きです。何処でも車で近くでも車で運転していきます。逆に歩かないので、脚の筋肉が落ちて今は長く歩けなくなりました。歩かないからお尻の筋肉おち、けつぺたが痛い。筋肉が落ちるとこんなにも悲しい。今、気がついた遅いけど。以前、大野パストから紹介された体操教室を続ければ良かったと後悔しています。

このままでは駄目だと思い、何か身体を動かそうとおもい10ヶ月前からホットヨガ教室に入りました。ホットヨガ教室は床がポカポカ暖かくて、ヨガの授業が午後一時からです。お昼ご飯を食べて床に横になると自然と昼寝タイムとなっております。先生は怒りません。83歳の生徒は私一人ですから。回りの生徒は私の孫娘みたいな若い生徒さんばかりだから。「ぐっすり寝ていましたね、愛子さん」笑って声をかけて起してくれます。

筋肉のおとろえてトイレも急に行きたくなったり、あまり我慢が出来なくなり、どこか出掛けてもトイレの場所をすぐ探して調べます。そうじゃないと心配で安心できないのです。

身体はおとろえても、心と気持ちは衰えない。若い頃と変わりません。83歳は若い世代から見れば、

私は本婆ばばあですよね。でも長く生きた分、いろんな経験をして来ました。何しろ私は戦前生まれです。日本の国は何処の家も子供が沢山いて、我が家も子供が6人で後からもう一人増えました。長女は軍事工場にとられ、次女は疎開先から身体を壊して帰された。三女と四女は山梨県に疎開して、五女が私です。私の下にはじめて男の子が生まれ、親はすぐ喜んでいました。なにしろ男の社会でしたから。

当時は貧乏で貧しかった。道路は土、水は井戸、かまどはまき、便所はひしゃくでくみ、桶にいれ畑にまいた。戦争で軍国主義で訳が分からないけど、よくぶたれた。その時代から比べれば今の生活は夢の夢。浦島太郎の気持ちです。

絶対に忘れない怖い思い出があります。夜、何度も空襲警報発令と命令が出ると隣組の人達と一諸に家から10分先の防空壕に皆で逃げるのです。真っ暗の中、息を殺して静かにして飛行機の音におびえて飛行機がとうざかるのを待つのです。そして警報解除の命令が出ると家に戻ります。一番怖かったのは東京大空襲の時。私は5歳でした。私が住んで所は東京都目黒区原町1349でした。私の家から30メートル先に川崎電気という大きな工場があり、そこをつぶしにB29が何機も飛んできて、しょういだんをバラバラ落とします。その日急に夜が騒がしくなり「空襲警報発令！空襲警報発令！」大きな叫び声。サイレンが鳴り、飛行機の音。家の中は明るくしてはいけないので「電気布をかぶせここは危ない遠くへすぐ逃げろ！」と怒鳴り声。「急いで！いつもと違う早く逃げろ」怒鳴り声がつづく。わたしも急いで防空頭巾をかぶり下駄を履いて準備をした。母親と姉でリヤカーに少しの必需品を乗せ、やかに水をいれ、最後の砦の大岡山の防空壕まで暗い道のりを30分以上逃げるのです。出る時母が「愛子お前はのろまで遅いからついてこれなければ捨てるよ！」母のかん高い声で怒鳴られた。わたしも一生懸命リヤカーの後をついて走ったけど、途中で長い坂道になり、少しずつ遅れて離れて行き泣きながら「待って！待って！」と叫んだ。ここで捨てられる思った。

坂道の途中沢山の人の叫び声。自分達班の人達の名前を呼んで生存を確かめ合うのです。持丸さん。長崎さん。長谷川さん。井上さん。永久保さん。大丈夫。班は6件位で一つの班でした。最初は一緒に逃げるのですが、どうしても早く安全な大岡山の防空壕に早く行きたいので先を争うので、直ぐにバラバラになってしまいます。いつの間にか周りの人知らない人ばかりで泣きながら走った。坂の上の方から弟をおんぶして母が走ってきて「本当に遅いだから」と言っ私の手を引っ張って坂の上連れてくれた。坂の上にあがると、あっちもこっちも家が燃え、空は真っ赤、しょうだんがバラバラ落ち、夢中で姉の手しかりつかんだ。大岡山の防空壕にはたどりつけなかった。火で熱くて歩けなくなり、近くのドブ川に急いで入った。ドブ川の中には沢山人でいっぱいだった。ドブ川につかってB29のとうざかるのを待った。火ついた燃えている材木が何本も流れてくる。怖かった。大人の人が自分たちの方に来ない様に材木を向こう側を押してくれた。何度も何度も繰り返してやってくれた。わたしは小さかったので、最初はお姉さん抱っこしてくれたけど、私が重いので姉も抱っこできなくなり、わたしは爪先でたった。首を延ばして上を向いてアゴまで水が来てた。波がたつとドブ水を何度もんだ。とても凄く怖かった。今思い出しても涙が出ます。こんな嫌な思い出を今ウクライナの小さい子供や市民が経験している。一年以上もかわいそうです。早く助けてください。戦争をやめてください。わたしのお願いです。

急に話を変えますが、先週の6月1日ロータリーの例会をドタキャンしてすいませんでした。休むつもりではなかったけど…。5月31日姉から電話あり、買い物に久しぶりなので連れて行く事にしました。出かける前買ったばかりの夏のアイシャドウを目の上に塗って行きました。買い物途中で汗をかいたので顔を拭きました。しばらくすると目が見えにくくなり、アイシャドウの粉でも目に入ったと思ったけど、買い物続けて夕方帰った。洗面器に水を入れて目をパチパチすると目のゴミが取れるやっ事を思い出して右目だからコップに水をいっぱい入れて3～4回パチパチした。一晚寝れば治ると思った。6月1日朝。まだ目が見えづらい。しつこいアイシャドウの粉。ロータリーに行く前にかがやき眼科に行っ目を洗ってもらいたいと思って行きました。

「予約なしで岡崎さんどうしたんですか？」

「昨日のアイシャドウの粉が目に入って見えづらい。雲がかかって目を洗って貰いたい」と言いました看護師さんが首をかしげて「アイシャドウの粉が目に入るなんて聞いた事がない。多分もしかすると出血していると思うけど。」え？わたしは目は赤くなってないけど看護師さんが「検査しましょう。」言いました。

検査したら視力検査1.2ありました。それからいろいろ検査して診察室に呼ばれた。先生がビックリした顔で眼底写真を見ながら「いつから見えなくなったの？」「昨日の午後2時30分位です。」「まだ1日たってないねー。」眼底写真をマウスで動かしながら「この白くなっているこの部分はもう死んだの。もう治らない。」え！私の思い違いでアイシャドウの粉のせいじゃなかった。どうしようビックリ呆然とした。先生は続けて解かりやすく言うと、目の脳梗塞みたいなものだよ。でも細い血管の方で良かったね。岡崎さんは運がいい黒目をかろうじてかわしてるから。

「先生、太い血管だったらどうなるのですか？」

「失明して治らないです。」

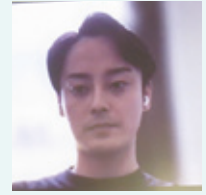
私は頭が白くなり怖いと思っった。

「獨協医科大学病院行っても同じだと思っけど心配して診断書を書いてあげるから行っってみる？」はい。お願い致します。看護婦さんがそばに来て、「岡崎さんびっくりしたでしょ。気を落とさないで頑張っってくださいね。」と優しく私に話かけてくれた。温かな言葉に涙が出てきた。

診断書をもって獨協に行っった。かがやき眼科の先生のお陰ですぐに色々検査をしてもらっことが出来た。結果はやはり目はもとはに戻らない。入院して静脈のどこかにかたまりがあるのでしらべると言われた。でも見つかるかどうかはわからないと言われた。その固まりが脳に飛んでいくかもしれないけど。そうしたら脳梗塞だよねと言われた。正直、死がせまっているのかなと感じた。私もいい年だから覚悟はしているのでも今更入院してもしょうがないと思ったので通院して治療することにした。その日は目の中の水分をとる手術をして終わりました何の兆候もなく突然やって来る目の脳梗塞。怖いですね。この歳で初めて知りました。どうしようと思ったけど、見えづらい目に早くなれて明るく前向きに残り少ない人生を生きて行っこうと思っます。

皆様、目を大切にしてください。

フレンズ近況報告(6月1日例会分)



フレンズ 小野 佑輔 様

■挨拶

皆さん、お久しぶりです。ご紹介に預かりました小野佑輔と申します。本日はこのような機会を頂戴し、誠にありがとうございます。越谷東RC様スポンサーの元、青少年交換留学にて2014~15年に韓国に留学させていただき、8年ほど経ちました。今回の卓話では、留学から現在にかけての変遷と、現在の仕事内容についてお話をさせていただきます。

■プロフィール

1996年 埼玉県越谷市生まれ
2013年 埼玉県立越ヶ谷高等学校 入学
2014年 韓国京畿道安養市 私立養明高等学校 編入
2015年 埼玉県立越ヶ谷高等学校 復学 卒業
2021年 明治大学政治経済学部経済学科 卒業
2021年 株式会社みずほ銀行 入行

■青少年交換プログラム参加の経緯

高校2年生だった当時の私は、「やりたいことが明確になっていないまま、大学進学をして良いのか」葛藤をしておりました。そんなことを中学時代の通っていた塾長である守屋会員に相談し、本プログラムを教示いただいたことが、越谷東RCや青少年交換プログラムを知ったきっかけです。

■留学時代

当時の韓国は、領土問題などが騒がれている時期で、留学前に親戚や友人等からは心配の声をよくかけられました。しかし、いざ留学をしてみると、想像以上にフレンドリーに日本人である私を歓迎してくれたことを昨日のこのように覚えております。

また、留学が終了し、越ヶ谷高校に復学、4年生として一人での卒業式を催していただいた際には、多くの越谷東RCの皆様にご参加いただきました。改めて御礼申し上げます。

■大学時代

留学をきっかけに新しい取り組みをすることに積極的になった私は、長期休み毎に1ヶ月ほどさまざまな国へバックパッカーにいておりました。また社会人になるまでに、多くの経験をしておきたいという理由から、友人と起業をしてみました。起業をきっかけに、起業家の支援を行なって行きたいという気持ちを持つようになり、みずほ銀行渋谷法人部への入社を決めました。

■現在の仕事

現在、みずほ銀行にてスタートアップ支援を行っております。具体的にはスタートアップ企業やベンチャーキャピタルの皆様への営業を行っております。

■なぜスタートアップ支援なのか

経済産業省は、「スタートアップこそ課題解決と経済成長を担うキープレイヤーである」と述べており、2023年を「戦後に次ぐ、第二の創業ブーム」にしようと目論んでおります。実際に、日本が戦後爆発的に経済成長ができたのは、当時の20代30代の若手起業家が設立したスタートアップによる影響も多かったはずですが、一方で、現在日本は欧米に比べてユニコーン企業数は低い水準で推移しています。

また経済面で良く「日本は、他国と比べ経済成長率が非常に低い」と揶揄されることがありますが、この理由もユニコーン企業数の少なさから来ているものと説明ができます。実際に、「GAFAMを除くS&P500」と「TOPIX」のパフォーマンスを比較すると、2010年以降ほとんど差はありません。故にその差はGAFAMによるものであると示唆することができます。

コロナワクチンで馴染みのある「ビオンテック(英)」や「モデルナ(米)」もそれぞれ2008年、2010年に設立された創業まもないスタートアップ企業であり、大企業に先駆けてワクチンを完成、実用化させるなど世界に貢献を果たしました。

以上より、日本では非常にスタートアップの関心度、重要度が高まっております。

■銀行の支援体制

当行では、スタートアップ特化の支援部隊を組成する等、他の金融機関に先駆けて様々な支援を行なってまいりました。銀行と聞くと融資による支援を想像される方が多いですが、財務内容が安定していないスタートアップのみなさまには、金融以外の非金融領域支援がメインとなっているのが実情です。現在はグループ一丸となって、スタートアップ支援の基盤構築に尽力しております。

■最後に

最後になりますが、留学をきっかけに現在の私があると考えております。今後もご支援ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。